

年始例記



一 御手水奉りしり新りしり  
此年男より調子の法や  
盃乃内へ蓋乃末紅葉難点の  
甚あしとぬよ上よ扱善と置て  
出すと楊枝奉りしり様あり

一 湯水のりり寅乃刻り  
生氣乃方のぬを汲瓶  
又の桶よ入金銀器よ入て  
茶よ白い是と飲ゆや  
呪文を唱たりし口傳

一 御髪具出はりしり松葉麩  
内亂よ入りしり白紅葉麩  
斗司以常勝栗と添出を  
なり

一 梅平代土器よ盛らりしり  
居出し次よ大膳と奉り



一梅平代土器より盛らば了  
居出し次より大服を  
以てしるる也

一一番に齒固次小宝珠三酒  
と出以初献より屠者上乃  
土器より三献飲二献白散  
子乃酒子より次の土器の  
中へ一匙入三献吞三献より  
度障散下の土器より酒子より  
一浅酒子の中へ入の酒を  
その酒子より三献吞三献を  
九献なり

一雜煮三献次小七五三次より吉  
書初め居替出五ツ造七ツ  
造免よりあねを造し

一包丁初乃事

千年

長久

滝登口傳

清免よりあかむし

一 包丁初乃事

千年

長久

滝登口傳

寶來

又、腔上

一 馬祭初事 附弓和

序破急

三吸

一 具足餅祝のり 庵子

甲冑を饒其あの兵器を

かきし神酒を備護軍

星あし出たや

一 餅を祝吸物を出 此酒を

祝之酌配膳ボ口傳

右一卷多年師傳之通

依由忍心令傳授

畢安不可有外見

者也

一餅を祝吸物を出—此角を  
祝之酌配膳亦口傳

右一卷多年師傳之通  
依由然心令傳授之  
畢妄不可有外見  
者也

水島 卜也  
之成

伊藤甚右衛門  
幸氏

同 隼太  
幸亮

同 将曹  
幸督

同 隼太  
幸辰

松岡清助  
辰方

同 身太

辛辰

松 岡清助

辰方

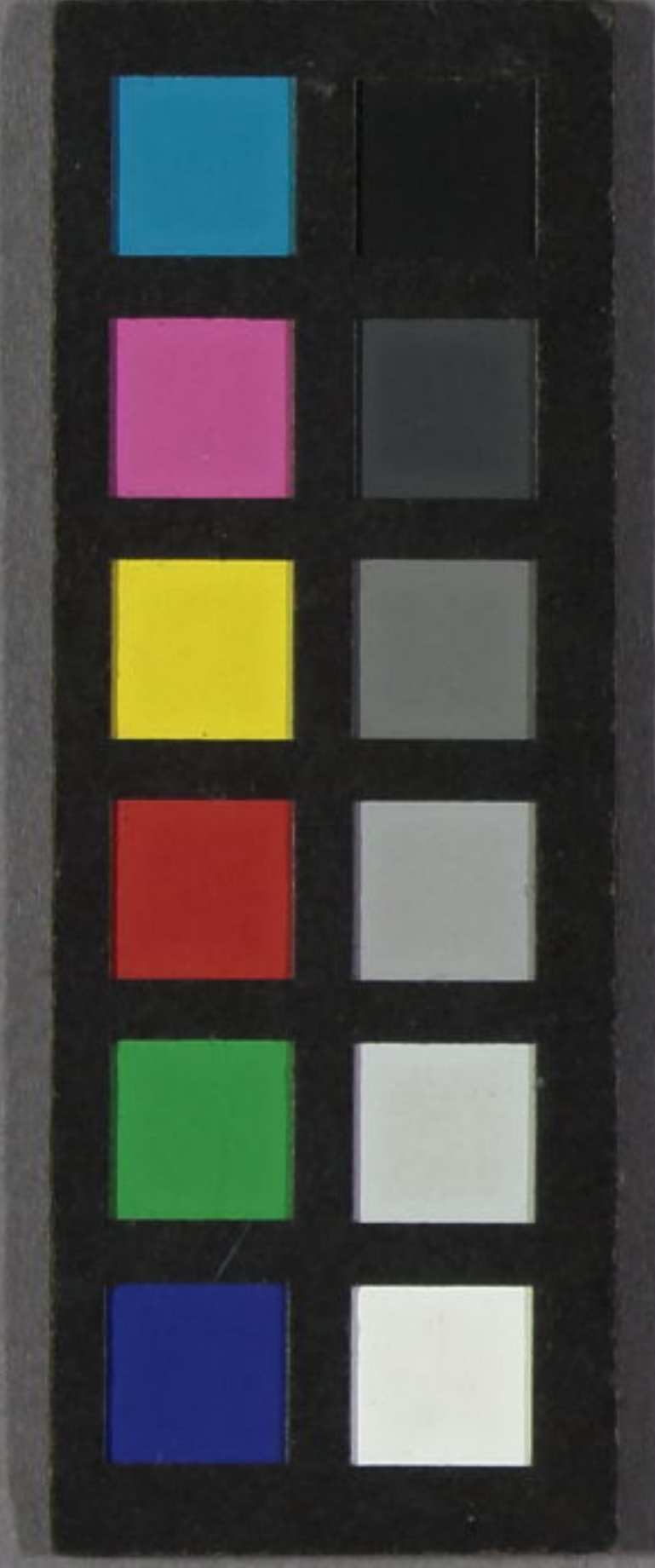
本間 雲一

文化七續

子皿夏上浣

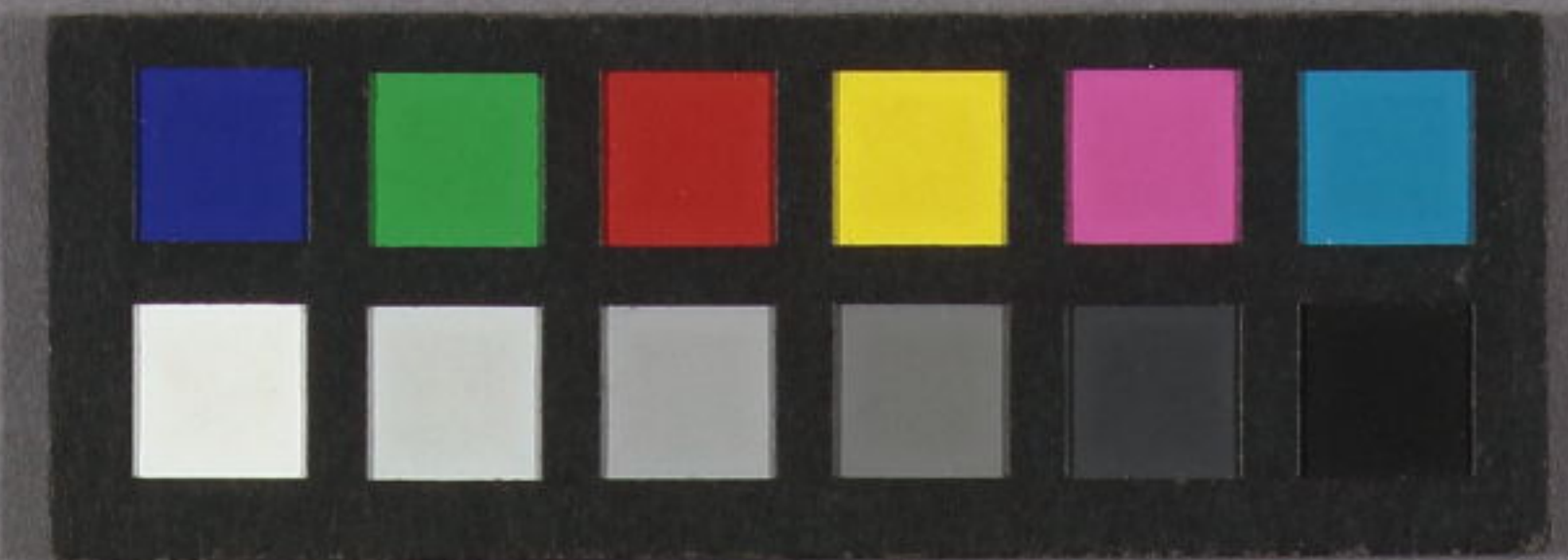


雲一



73  
3645  
106





年  
始  
例  
記

年  
始  
例  
記

73  
3645  
106



7保子  
3645  
106  
A



73  
3645  
106

新嘉坡